

結果の要約

1 職業

鹿児島県の15歳以上就業者数(809,835人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業」が209,563人(15歳以上就業者数の25.9%)と最も多く、次いで「事務従事者」が138,691人(同17.1%)、「専門的・技術的職業従事者」が110,673人(同13.7%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が12,035人(15.5%)増、「保安職業従事者」が442人(3.5%)増となっている。一方、「管理的職業従事者」が3,685人(18.2%)減、「運輸・通信従事者」が3,982人(11.8%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「事務・技術・管理関係職業」が32.8%と最も高く、次いで「生産・運輸関係職業」が29.5%、「販売・サービス関係職業」が25.6%、「農林漁業関係職業」が11.5%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」が1.9ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」、「農林漁業関係職業」、「事務・技術・管理関係職業」がそれぞれ1.6ポイント、0.4ポイント、0.2ポイント低下している。

「事務・技術・管理関係職業」 = 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」 = 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業」
「販売・サービス関係職業」 = 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」 = 「農林漁業作業」

2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は40.9時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が48.1時間と最も長く、次いで「保安職業従事者」が45.5時間、「販売従事者」が43.7時間などとなっている。平成12年と比べると、「農林漁業作業」が同時間となっており、他の職業大分類は減少となっている。特に、「販売従事者」が2.1時間減、「サービス職業従事者」が1.8時間減となっている。

3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が192,228組(夫婦数418,275組の46.0%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が116,177組(同27.8%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「農林漁業作業」である夫婦が25,728組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の13.4%)と最も多く、次いで夫と妻ともに「生産工程・労務作業」である夫婦が19,352組(同10.1%)などとなっている。

4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は214,631世帯(住宅に住む一般世帯714,828世帯の30.0%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は500,197世帯(同70.0%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が212,985世帯(同29.8%)、「女性のみ」の世帯が88,618世帯(同12.4%)、「幼児と女性のみ」の世帯が35,219世帯(同4.9%)となっている。

図1 鹿児島県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

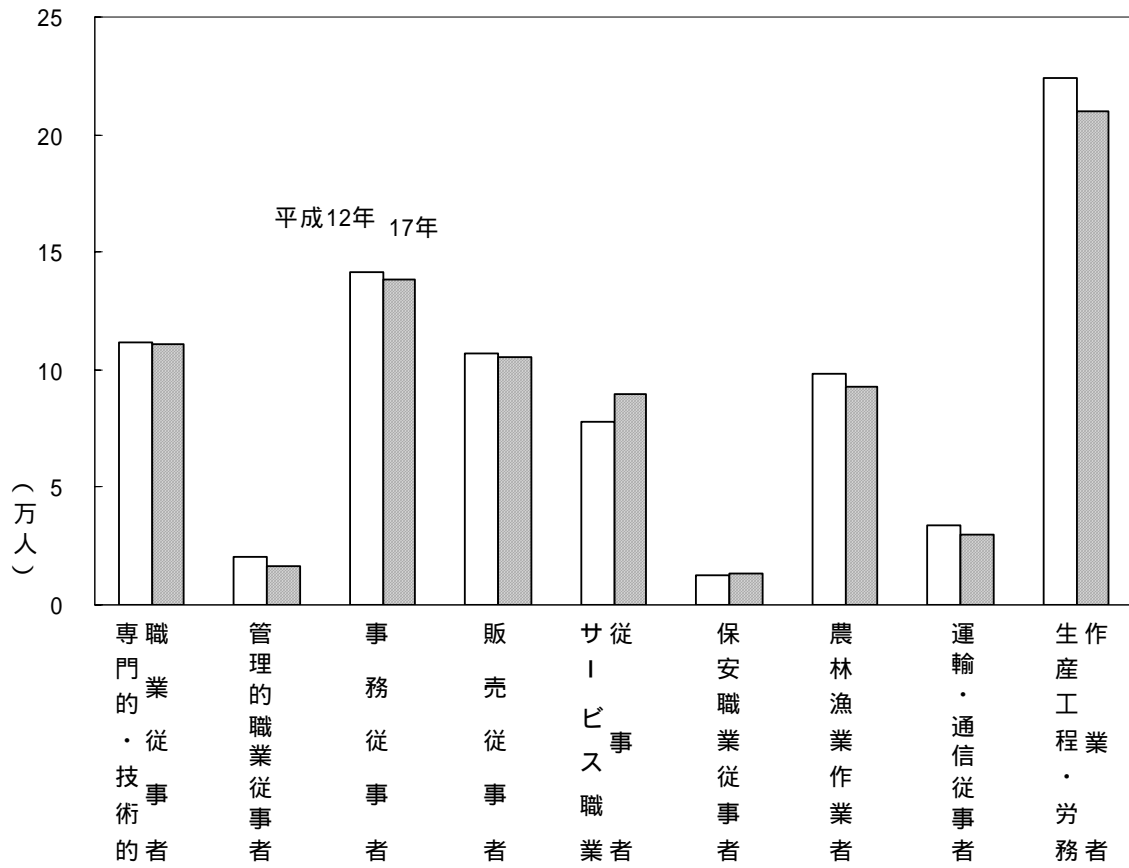


図2 鹿児島県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

